

### <バス関連の委員からの意見>

横田委員（リゾートライナー）：冬期間はバス台数も多いので、分散することは良いと思われるが、サンスポを拠点とした場合、この施設がどのくらいの設備（スペース）なのかにもよる。この点が重要と思われる。日帰り客の送迎をどうするかについても対応が求められる。

文字課長：ターミナル機能に移した場合、送迎をどうするかは課題。

横田委員：第一駐車場の複層化を視野に入れていると思うが、その規模によって、バスのスペースにも影響も出てくるのでは。

文字課長：複層化については、今後のテーマ。

永井委員（ホワイトライナー）：バスは一度に大人数が乗降されるので、サンスポに拠点を移した場合、サンスポからの右折による課題がある。また、観光客も歩いて移動となり、第一駐車場での乗降であれば、俱知安に来たときは、下りながら目的地へ向かうので、こちらの方が良いかと思われる。これは一案としてお伝えするが、ひらふ坂と、ゴンドラ坂で通行規制することはできないものか。（例として、一方通行など）

文字課長：今後、このような視点も含めて検討していきたい。

渡邊委員（道南バス）：第一駐車場の整備にあたり、駐車場の傾斜は解消させるものか。毎年冬期間、駐車場で、横滑りすることがある。また、サンスポは現状のままなのか、グラウンドまで広げることを想定しているか確認したい。アルペンホテル前などの駐車場は、整備など行うものか。

文字課長：アルペンホテル前については、どのように活用するかになる。傾斜については、今後どのように整備するか、いただいた意見も踏まえつつ、今後参考にしていきたい。また、サンスポの敷地について、ターミナルとなる場合は、グラウンドまで拡張する必要はあるが、テニスコートは夏場の利用もあるため、残していきたい。

石川委員（ニセコバス）：第一駐車場での分散については、安全上も踏まえ良いことだと思う。しかし、サンスポの拠点は、キャパを含め十分かが懸念される。サンスポに拠点を設けた場合、送迎の課題があるので、利便性を維持する必要がある。（サンスポと第一駐車場の橋渡しとなる交通手段は必要）

文字課長：サンスポと第一駐車場間の交通手段などについて、今後課題となる。

佐藤委員（ニセコフリーパスポート協議会）：シャトルバスの運行は、ニセコバスで行っているところ。スキー場間をつなぐユナイテッドバスは、第一駐車場まで行く必要がある。

文字課長：ユナイテッドの利用状況はどうか。

佐藤委員：スキー場（リフト）がクローズとなった場合、乗客が増えることは多々ある。また、食事をするにあたって、ビレッジからひらふに向かう利用者もいる。

#### <その他、委員からの意見>

福井委員（ひらふ第一町内会）：第一駐車場のツアーバスのバスストップはなくなるということの良いか。そして、ツアーバスはサンスポに行くということか。

柳澤室長：分散案は、福井委員の言うとおりの。

福井委員：サンスポのキャパは、第一駐車場と比較した場合、どの程度か。（面積など）これまで、第一駐車場から観光客がひらふ坂を下り、目的地まで向かっていたが、サンスポを拠点とした場合、送迎車を導入した場合、サンスポでは手狭になると思われる。観光客も夜中にひらふに到着した場合、タクシーも呼べない状況となれば、利便性は悪くなる。ツアーバス利用者は荷物も多く、第一駐車場を日帰り客などの駐車場にするのではなく、ツアーバスなどのバス利用者を中心としたものにすべきでは。

柳澤委員：サンスポについては、測量等していないのが現状。サンスポで、バスの旋回は可能かという質問がありましたが、サンスポのグラウンドは、ソフトボール球場程度の広さ（長さ）はあるかと思われる。バスの旋回と停車は、30m程度は必要と伺ったこともあるので、図面には記載している。サンスポの面積については、後日改めてお知らせする。

福井委員：サンスポでのバスの旋回など、イメージ図を示してほしい。

柳澤室長：建物を挟んで、通行レーンなどを設置し、解決ができるかと想定している。資料にあるイメージ図は、決定事項ではないもの。

福井委員：これはあくまで、利用者が主体となったものか。アンケート調査などを行って、結果を参考にしていければ良いのでは。

柳澤室長：これからどうするかを、この有識者会議でご意見をいただきながら進めていくもの。運用とは切り離して、この会議で協議している。（あくまで、ハードの話）

中村委員（ペンション陽のあたる場所）：第一駐車場は、どのくらい台数・スペースを必要としているのか。どれだけ不足しているのか。

柳澤室長：ウエルカムセンター前は、冬期間で300台を要する。第一駐車場を含め、ひらふエリアで、何台の駐車スペースが必要かについては、昨年度「空間調査」を実施しているので、次回お示ししたい。

中村委員：バスで来る観光客を大事にする必要はある。駐車場が不足しているといっても、それほど困っていないと言うことであれば、バスを中心に考えるべきでは。

柳澤室長：第一駐車場の整備は、冬期間の混雑は、危険な状況にあるので、そこを解消するということが前回お伝えしたが、第一駐車場は、あくまで「駐車場」であり、バスターミナルではない。国定公園（自然公園）の「駐車場」の役割となっていることご理解いただきたい。

福井委員：第一駐車場に駐車している車は、宿泊客・従業員などについては、把握しているのか。整備されてからでは、身動きが取れなくなるので、色々な意見を聞いてほしい。

柳澤室長：昨年度、このエリアの空間調査を実施しており、100%ではないが、利用状況については、アルペン前とシャレーアイビー横の駐車場は、従業員が駐車しているのはいかーという結果が出ている。

文字課長：第一駐車場は、あくまでスキー場利用者のための駐車場であるので、皆さんと共有しながら、進めていきたい。

クリス委員（HTM 株式会社）：駐車場の整備はいつ行うものか。

文字課長：早くて平成 32 年と思われる。

田中委員（国際リゾート都市づくり検討会）：ひらふ交差点の渋滞について、情報共有したい。ひらふ坂に上がる右折レーンの渋滞、ニセコ側から来る際の左折で渋滞することがある。

文字課長：冬期間のひらふエリアの滞在者数は、倶知安の人口並みとなっている。人口密度では、東京都の杉並区程度となっていることも参考にさせていただきたい。

クリス委員：ひらふ交差点で、車歩分離は可能か。

柳澤室長：今冬、関係者と協議した際、夏と冬での状況は変わっており、信号の仕様を変えることは好ましくないと、警察からご意見をいただいている。夏冬の状況が大きく異なるので、警察でも検討はしている。

吉田委員（倶知安観光協会）：ウエルカムセンターは、東急で建て替えるのか。

釜江委員（ニセコ東急リゾート株式会社）：土地は町、建物は東急となっている。建物の老朽化は十分認識している。現時点で、「建物の更新の必要性は認識している」。第一駐車場の方向性なども踏まえる必要があり、建物の内容・スキームなどは未定であることをご理解いただきたい。

<オブザーバーより>

中山首席専門官（札幌運輸支局）：運輸支局で関連するものでは、路線バスのルートが変わるので、その手続きで、バス会社と関係する。

半沢環境生活課長（後志総合振興局）：駐車場の複層化については、国定公園内での高さ制限なども調査しておきたい。